

# PowerPointによる 講演動画ファイルの 作成マニュアル (Windows版)

## 録画を開始するにあたっての注意点

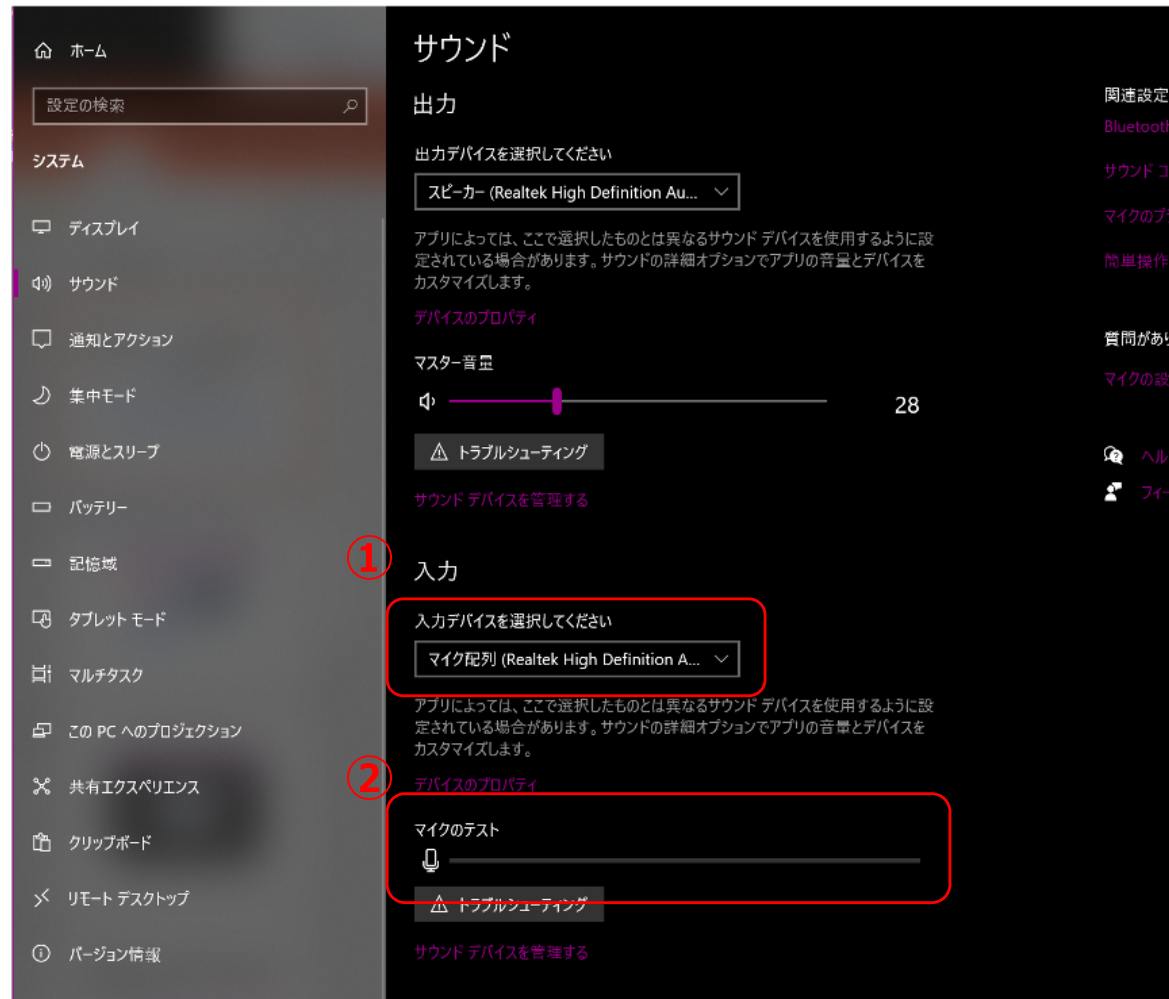
- ・音の静かな環境での録画を行ってください。
- ・音のでる電子機器の設定をオフにして録画を行ってください。

# ( 1 ) Windowsのサウンドからマイクの入力を事前に確認

① スタート → 設定 → システム → サウンドの順に開き、  
入力デバイスが選択されていることを確認してください。

② マイクのテストでは声を出して反応しているか試してみてください。

動画ファイルの音声小さすぎることのないよう、ここで適切にレベルを調整して下さい



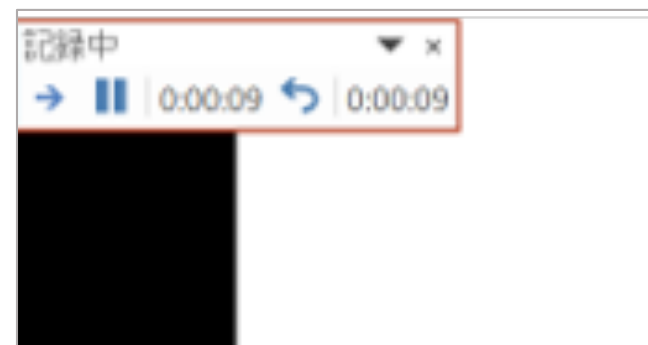
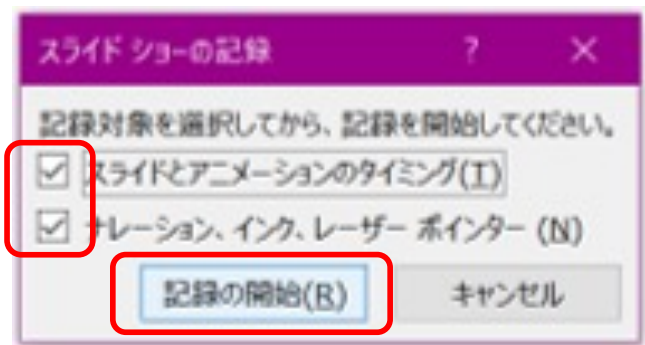
## (2-1) 作成したPowerPointの資料から記録を開始する

※PowerPoint2013/2016バージョン

1. スライドショーを選択し“スライドショーの記録” → “先頭から記録”をクリックします。



2. “スライドとアニメーションのタイミング” と “ナレーション、インク、レーザーポインター”にチェックを入れて記録の開始をクリックしてください。  
記録中が表示されタイマーが開始されますので口頭で発表の録画を行ってください。  
最後のスライドを進めると記録が停止されます。



## (2-2) 作成したPowerPointの資料から記録を開始する

※PowerPoint2019/Office365バージョン

1. スライドショーを選択し“スライドショーの記録” → “先頭から記録”をクリックします。



2. “記録” をクリックすると録画が開始されますので口頭で発表の録画を行ってください。最後のスライドを進めると記録が停止されます。



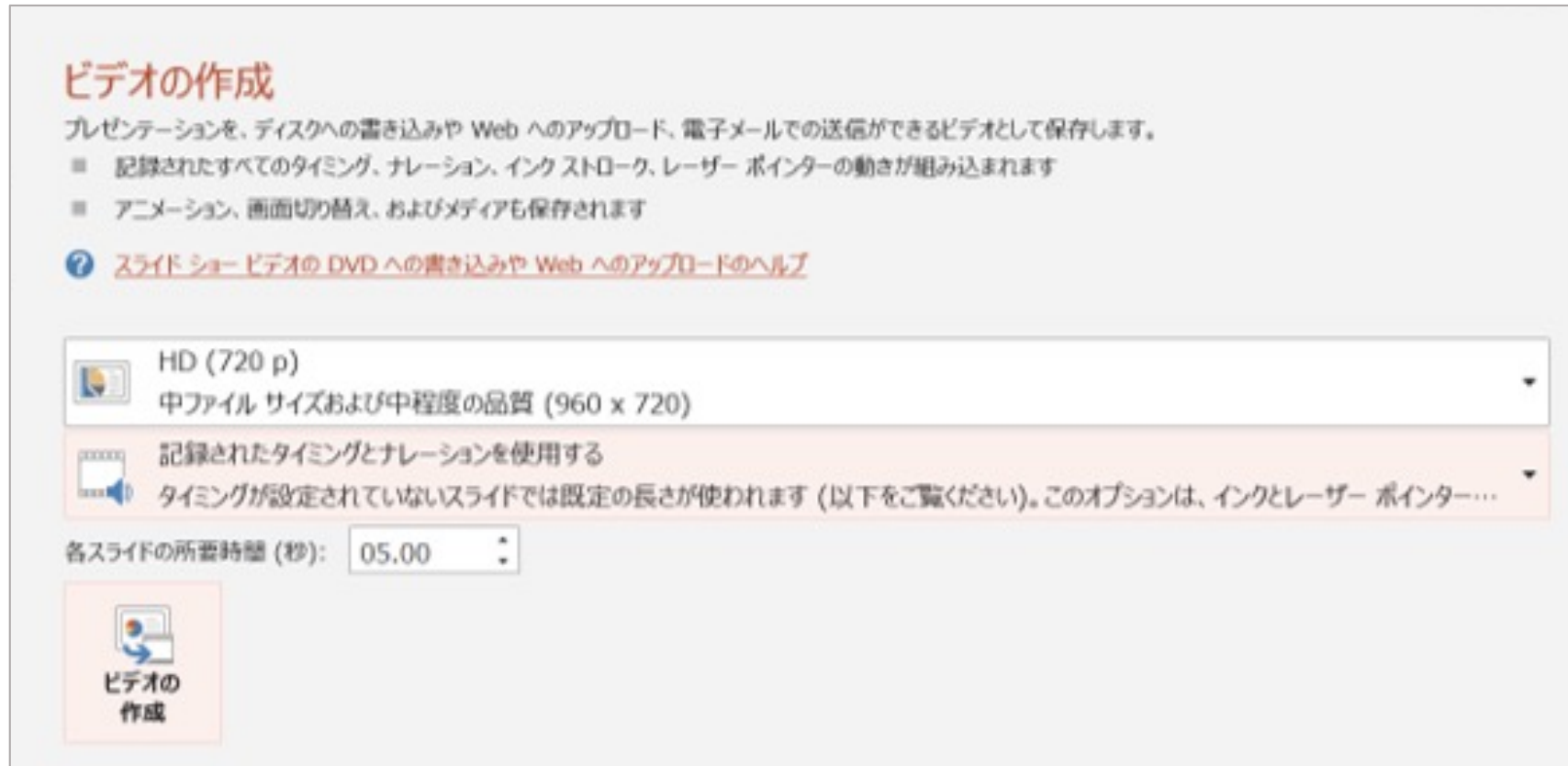
## (3-1) 記録したスライドを動画に書き出す

記録したスライドを確認後、ファイル → エクスポート → ビデオの作成の順に動画の書き出しを行ってください。



## (3-2) 記録したスライドを動画に書き出す

1. ビデオの作成の設定は中サイズ (720pixel:960×720)を選択し  
“記録されたタイミングとナレーションを使用する”を選択後、ビデオの作成をクリックしてください。



**ビデオの作成**

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、インク ストローク、レーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

[? スライドショービデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ](#)

HD (720 p)  
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (960 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する  
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使われます (以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザー ポインター...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

ビデオの作成

2. 名前をつけて保存 → ファイル名：**【4桁の講演番号】** → ファイルの種類【MPEG-4ビデオ】を選択し保存を押すとmp4を作成中が始まります。

